

ファッション  
One Point  
アドバイス

ボトムスは  
ショート丈!

これまではミニスカートを履く場合、スキニータイツやレギンスと合わせることが多かったのですが、今年はナマ足がお勧めです。この短い丈にはソックスを履かない方が断然、健康的で可愛い。もし、ソックスを合わせるなら、膝頭が見える程度の丈にすると、バランスも良く、最近のトレンドである乙女風も演出できます。

一方、ショートパンツはこれまでになかったスリムサイズが一押し。ちょうど、バミューダパンツの丈を膝頭より短めにして、ハーフパンツより裾口を細めにしたようなデザインが今年っぽい。それよりも短め、ちょうど、二分から三分丈のクォーターパンツをイメー

ジすれば良いでしょうか。この丈で裾口が細いパンツは「ジャマイカパンツ」とも呼ばれてますので、この名前を覚えておくと良いかもしれません。

バミューダパンツはその丈感が、あたたかもりゾート風で、着こなし次第ではダサイイメージになってしまいがちです。しかし、この丈を10cmほど短くするだけで、途端に都会的で涼しげな夏らしい装いに変わります。

この細身のショートボトムスに組み合わせるトップスは、腰をしっかり隠せる長めのフリフリブラウス。透け感があり風になびくような素材のものを選ぶと、ボトムスの丈とのバランスも良く、今シーズンらしいコーディネートになるはずです。



mat

## 絵画の中の洗濯風景

### アイロンを掛けるメイド



ヘンリー・ロバート・モーランド (1768)

ヘンリー・ロバート・モーランド (1716-1797年) はイギリスの肖像画家で、英国王ジョージ3世の肖像画を描いたことで知られています。王立アカデミーの画家として貴族の肖像画を描いて裕福な生活を送っていましたが、一方では、生涯を通じて、メイド、バラード歌手、カキ売りの少女たちなどをファンシーなイメージで描いたといわれています。この「アイロンを掛けるメイド」は、彼の代表作とされており、柔らかな光の中に透き通るような白い肌のメイドが描かれています。貴族の婦人よりもさらに優雅に働く女性の美しさを見せています。

くらし応援ニューズレター

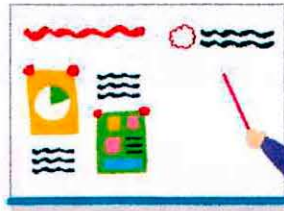
# HomeDry News

ホームドライニュース No.98



ファッション・ワンポイント:ボトムスはショート丈!  
絵画の中の洗濯風景:アイロンを掛けるメイド  
衣類のケア講座:ナチュラルで爽やか夏素材「麻」  
衣生活の知恵:ニットのプリント柄は消えてしまうことがある

まごころクリーニング  
**ホームドライ**  
<http://homedry.or.tv/>



## 衣類のケア講座

### ナチュラルで爽やか 夏の素材「麻」

持続可能社会を目指す活動が盛んになり、ファッション分野でも自然素材が注目されるようになりました。

天然繊維の中でも、特にナチュラルなイメージのある素材が麻です。猛暑になることの多い近年、清涼感のある素材としても人気が高まっています。

#### ●衣料素材としての「麻」とは？

まず知っておきたいのは「麻」とは「綿」のように植物の種類を意味するものではないということです。専門的には靱皮（じんび）繊維といわれるものです。植物の茎からとる繊維のことを靱皮繊維といい、これを総称して「麻」と呼んでいます。コーヒー豆を入れるざっくりとした麻袋はジュートという植物、麻縄などは主にサイザルというリュウゼツランに似たサボテンから作られています。

ところで、私たちが日常的に手にする「麻」と表示されている植物は何でしょう？これは、家庭用品品質表示法という法律で定められています。それは、亜麻（リネン）と苧麻（ラミ

一）という2種類の植物からとれる繊維に限定されているのです。



亜麻（リネン）

苧麻（ラミー）

亜麻は主にヨーロッパの寒冷地帯の植物で、苧麻は東アジアの温帯の植物です。苧麻は日本古来の衣素材として親しまれ、麻生などの地名もこの植物に由来します。ちなみに右上の写真は、神奈川県川崎市麻生区役所のものです。

#### ●麻製品で気を付けたいこと

長く着続けたいのであれば、淡い色のものがおすすめです。特に生成りというナチュラルカラーがよいでしょう。その理由は、まず麻繊維は均一な色に染めにくいという性質があり、濃色に染めようとするとき色落ちしやすいということです。また、着用中の摩擦によって、繊維が毛羽立つという性質があり、その部分だけが乱反射で白っぽく見えて目立ちやすくなるためです。

保管にあたっては、汗汚れや皮脂などが残っているとカビが発生しやすいので、必ずクリーニングしてから収納してください。



### ニットのプリント柄は 消えてしまうことがある



ニット製品の片面にプリントされた色柄は、編み糸が反転（ひっくりかえり）して、裏の無地の面が表に出てしまうことがあります。

ニット（編物）は、織物に比べて、伸び縮みしやすい構造になっています。そのぶん糸の裏表が逆になりやすいといえます。この現象は、生地裏を見るとすぐわかります。

水に濡れると、糸のヨリやネジレがもどり、いっそう反転が起きやすくなります。このような自然な糸の性質を考えますと、ニットのプリント自体に、無理があると言えます。